

2020年度も職員の行動指針をもとに、国際協力に関心のある人や参加される人にスポットを当てた活動を展開しました。

## **FUNN職員行動指針**

### **「人と世界をつなぐ」**

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が加盟団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

### **「NGOに関わる人と人をつなぐ」**

「加盟団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感じられる場を提供する。加盟団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

### **「NGOと他セクターをつなぐ」**

「NGOと、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスをを行い、NGOと他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGOの社会的基盤づくりを促進する。

## **事業報告 目次**

1	2020年度事業別報告	
1-1	NGOの活動や運営に関する支援	2
1-2	国際協力に関する調査・提言	4
1-3	国際協力に関する情報・学習機会の提供	7
1-4	NGO活動に関する人財育成	13
1-5	NGO間及び各種団体との連携促進	14
2	組織	
2-1	組織運営・体制	15
2-2	会員	16
	理事 高橋良輔氏の訃報について	17

## 1. 2020年度事業別報告

### 1-1. NGOの活動や運営に関する支援

#### 1-1-1. 2020年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。今年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響から活動実施計画が一部変更になりました。

#### 1-1-2. 2020年度の活動

##### ① 加盟団体の資金調達、NGO活動強化に資する情報の提供

###### ■情報提供や人財紹介

###### ○実施内容

ウェブサイト、メール、機関紙等を通して、NGO関連情報や助成金情報の提供、人財・ボランティア紹介などを行いました。外務省・JICA等からの情報を関係団体と共有するほか、FUNN独自で情報収集を行い、メール等による配信・案内を行いました。

###### ○成果

前年度同様、2020年度は新型コロナウイルスの影響の中、九州地域NGO活動助成金事業を加盟団体から広く九州地域に広報を行い、通常通りの応募を受けることが出来ました。他にFUNNが得られる助成金情報については随時加盟団体へ情報配信を行ってきました。

##### ② 広報活動の支援

###### ■情報の発信

###### ○実施内容

ウェブサイト・SNS・メール・機関紙を通して、加盟団体を中心としたNGO等の情報を市民に発信しました。

###### ○成果

加盟団体から依頼を受けた情報については滞りなく配信することができました。

##### ③ NGOの組織・能力強化の支援

###### ■九州地域NGO活動助成金（真如苑共催）

宗教法人真如苑との共催で加盟団体及び九州全域のNGOを対象にした助成金プログラムを企画、実施しました。

###### ○実施内容

宗教法人真如苑との共催で、対象を加盟団体から九州地域に広げて助成金事業を企画、実施しました。8団体からの応募があり（内1団体取り下げ）半公開方式のプレゼンテーションと審査会を実施した結果、6団体の事業が採択されました。

○応募受付期間：2020年07月18日（土）～09月28日（月）

○審査会日：2020年10月10日（土）

○採択団体と事業



- ・NPO法人 トゥマンハティふくおか  
マタケン/オンライン日本語ボランティア講座整備事業
- ・(特活) バングラデシュと手をつなぐ会  
テレワークのための環境整備事業
- ・(特活) ISAPH (アイサップ)  
食用昆虫を育てる農地の整備 (Withコロナ時代の遠隔管理体制の導入)
- ・(特活) 地球市民の会  
ミャンマー・コーヒーファンづくり～国際協力をもっと身近に～
- ・芭蕉繊維研究会  
ミャンマーにおける糸芭蕉の栽培及び芭蕉繊維の回収・利用事業

#### ○成果

前年度同様、FUNN加盟団体及び九州地域の団体へ公募対象を広げて行いました。支援を受けた団体は助成金を有効に活用し、コロナ禍や活動地の国情等で一部事業変更等を余儀なくされながらも、各プロジェクトを効果的に進めることができました。

#### ■NGO等提案型プログラム

##### ○実施内容

2017年から始まったJICA「NGO等提案型プログラム」により「解決したい気持ちを形に変える -九州のNGOの組織強化-」事業を引き続き実施しました。最終年度となり参加団体による3年間の成果報告会を行い、このプログラムへ参加団体及びJICA九州センターからの高い評価を得ました。新型コロナウイルスの影響により報告会がオンライン開催となったため、参加地域を九州に限定せず全国に広報した結果、関西などからの参加がありました。

##### ▼参加8団体

- ・フレンズ国際ワークキャンプ九州 (FIWC九州)
- ・特定非営利活動法人ISC糸島スポーツクラブ
- ・JOFA日本オリジナルフラワー協会
- ・認定特定非営利活動法人 じゃっど
- ・特定非営利活動法人 ピーステクノロジー
- ・一般社団法人 ミドリゼーションプロジェクト
- ・特定非営利活動法人 愛未来
- ・特定非営利活動法人 バングラデシュと手をつなぐ会



▲オンライン報告会の様子

※2021年度「NGO等提案型プログラム」の申請の検討を行いました。

▲オンライン審査会の様子

## 1-2. 国際協力に関する調査・提言

### 1-2-1. 2020年度の方針

NGOのネットワークとして、NGOや市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。

### 1-2-2. 2020年度の活動

#### 1 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動

##### ■2020年度 NGO・外務省定期協議会 ODA政策協議会

ODA政策協議会コーディネーターとして参加し、外務省とNGO間の調整や議題の調整等の業務を担いました。（担当理事の体調不良に伴い2020年度後半は参加できませんでした。）新型コロナウイルスの影響で中止されていた協議会は、2021年3月「臨時会」の形で開催されました。

##### ○実施内容

###### 1. ODA政策協議会臨時会

日時：2021年03月22日（月）14:00～16:00

場所：外務省内南808号室（オンライン）

参加者：外務省国際協力局民間援助連携室（主席事務官）、  
ODA政策協議会コーディネータ、NGO団体（NGO側約60名）

##### 報告事項

- (1) テロ資金対策にかかる留意事項
- (2) NGOの関心事項について
  - 1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する国際協力について
  - 2) イギリスG7サミット及びイタリアG20サミットの主要議題について
  - 3) 「女性の活動推進のための開発戦略」のODA第三者評価結果と戦略の改定について
  - 4) モザンビークにおけるODA事業・プロサバナの「終了」について
  - 5) 多国間機関との戦略的連携について
  - 6) 2021年自発的国家レビューへの参画について

##### ■市民社会スペースNGOアクションネットワーク（NANCiS）

##### ○実施内容

引き続き構成団体として参画し、担当理事の高橋氏が世話人として世話人会に参加されていましたが、理事の体調不良により年度後半は会議参加ができませんでした。以下は2020年度のNANCiSの主な活動です。

2020年04月08日（水）新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言について（声明）

2020年07月07日（火）ホンコン国家安全維持法の制定・施行に抗議する声明

2020年10月13日（火）日本学術会議任命拒否問題に関する声明

2020年11月30日（月）NANCiS2周年記念シンポジウム「私たちは沈黙しない」オンライン開催（NANCiSホームページより動画視聴可能）

2021年02月25日（木）NGO共同書簡「ミャンマー国軍によるクーデターの現在進行中の人権侵害に関して」を茂木外務大臣に提出

2021年03月18日(木) 共同声明「私たち日本の市民社会は日本政府に対してミャンマー市民の人権を守るためのアクションを求めます」

## ■ NGO非戦ネット

### ○実施内容

国際協力に関わるNGOや、グローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法制案や戦争政策に反対するための、継続的で緩やかなネットワーク団体であるNGO非戦ネットの活動に賛同し、メーリングリスト等による情報共有を行いました。

### ○成果

ミャンマー関連の情報共有等が行われました。引き続き情報共有のために参加する意義はあると考えられます。

## ■ 2020年度NGO・外務省定期協議会 連携推進委員会

連携推進委員会の委員として参加し、全国の現場で活動するNGOと連携し、NGOの立場から外務省と協議を行いました。

### ○実施内容

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、全体会議が中止となり、連携推進委員会も11月に第1回が開催されただけとなりました。オンラインでの参加が中心となりましたが、6回に及ぶタスクフォースに参加することでNGOと外務省との連携によりNGOの強化につながる方策を協議してきました。

### ○各回詳細:

1. 全体会議 例年は連携推進委員会とODA政策協議会の全体会議が6月に開催されていますが、2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催することができませんでした。

2. 第1回連携推進委員会 11月24日(火) 14:00~16:00 外務省南761国際会議室  
冒頭挨拶 中西 哲 外務大臣政務官

#### 報告事項

- (1) 外務省・JICA・NGOとの共同キャンペーン「EARTH CAMP」の概要説明
- (2) OECD-DAC対日ピアレビュー審査会合及び審査報告書について
- (3) テロ資金対策に係る留意事項等

#### 協議事項

- (1) 「NGOとODAの連携に関する中期計画」次期連携中期計画について
- (2) 2020年度タスクフォースにおける「日本NGO連携無償資金協力」の成果と今後の議論の方向性について

3. 連携推進委員会タスクフォース 外務省会議室(オンライン参加)

日付: 07月17日(金)、08月18日(火)、09月29日(火)  
10月30日(金)、01月08日(金)、02月22日(月)

参加者: 連携推進委員、外務省国際協力局民間援助連携室、その他関係部署

- 内容: (1) 中期計画、日本NGO連携無償資金協力(N連) 評価等について  
(2) 安全管理、NGO活動環境整備支援事業、N連効率化、N連実施要領について  
(3) 連携推進委員会・事前打ち合わせ  
(4) その他

## ○成果

新型コロナウイルス感染症の影響で対面式の連携推進委員会は1回のみ開催となりましたが、それに代わって連携推進委員会タスクフォースが6回開催されました。タスクフォースではNGOに関する具体的な問題について、外務省の担当課の方たちと率直な意見交換ができるので、NGOの課題解決に有意義だと考えます。

## ○NGO研究会

2020年度のNGO研究会は「新型コロナウイルス感染症拡大に対する日本の国際協力NGOの対応戦略」というタイトルで、関西NGO協議会が受託しました。連携推進委員会としては、このNGO研究会に全面協力しています。河上雅夫は研究会アドバイザーとして参加しました。NGO福岡ネットワークは、全国のネットワークNGOと共に実施協力団体として参加しています。この研究会の成果品は全国の多くのNGOが今後の活動の参考にできるものとなったと思っています。

## ■ 2020年度NGO-JICA協議会

### ○実施内容

NGOとJICAの対等な連携を促進するため、NGO-JICA協議会は設置されています。対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換を行っています。

### 第1回NGO-JICA協議会

2020年6月30日(火) 14:00～16:30 JICA竹橋ビル他目的会議室・他

### 協議事項

- (1) 今年度のNGO-JICA協議会実施方針案
- (2) コロナ緊急対応におけるNGOとJICAの連携 ①JICAの緊急対応 ②NGOの緊急対応・課題
- (3) ジェンダーの主流化
- (4) JICA寄付金事業を議論

### 報告の部

- (1) NGO研究会：PSEA研究／COVID-19NGO調査 (2) NGO調査：NGOの人件費単価
- (3) NGO活動情報共有 (4) JICA活動情報共有について、報告・共有がなされました。

## ○成果

NGO-JICAの連携に関わる最新の情報の共有の場になりました。

## 1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

### 1-3-1. 2020年度の方針

潜在層・関心層の掘り起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。

### 1-3-2. 2020年度の活動

#### ① 国際協力に関する情報の提供

##### ■ 国際協力ニュース

##### ○ 実施内容

国際協力やNGO・加盟団体・FUNNの活動の情報発信ツールとして2020年度は年4回の発行とし各700部を発行しました。また加盟団体へ告知などの発行物の同封の案内に協力、ニュース発行時に同封をしました。

##### ○ 成果

加盟団体、個人会員、地域NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布しました。2019年度から引き続き2020年度も加盟団体インタビューを実施し、各団体それぞれの活動を理解・知ってもらえる機会になったと思います。同封物の協力で加盟団体の告知・広報の貢献ができました。

##### ■ メールマガジン「Fun ! Fan ! FUNN !」

##### ○ 実施内容

FUNNや加盟団体を中心とするNGOのイベントやボランティア情報などを掲載し行動のきっかけとなるメールマガジンを目指します。発行は隔週水曜日に発行しました。

##### ■ ウェブサイトとSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

##### ○ 実施内容

ウェブサイトとFacebook、Twitterなどのツールを連動し、FUNNや加盟団体のイベント、活動情報を提供しました。

##### ○ 成果

最新情報の収集と提供を意識して取り組むことができました。各種広報媒体を見てイベント等に参加をした市民もいました。

2020年04月01日～2021年03月31日の登録者数の推移

Facebook	566→845	いいね
Twitter	696→771	フォロワー
ウェブサイト	9,616→13,174	UU(ユニークユーザ/年)
メールマガジン	128→470	登録者

#### ② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

## ■ 倶楽部FUNN

### ○実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場の提供として開催してきましたが、コロナの影響により食事をしながらの交流を深める事が困難になり、内容を見直しオンラインで「リモート倶楽部FUNN」として8月から継続実施してきました。

開催日	タイトル	講師	参加者数
07月03日（金）	（一社）ミドリゼーションプロジェクト 「ヨルダンで木を植えています」	能智元晴 ミドリゼーション	25名
08月07日（金）	（一社）ミドリゼーションプロジェクト 「続 ヨルダンで木を植えています」	能智元晴 ミドリゼーション	13名
10月02日（金）	特定非営利活動法人アジア女性センター 「女性であることマイノリティであることは？～アジア女性が直面している課題について～」	本多須美子	9名
12月04日（金）	FUNN職員 「幸せの定義って？モザンビークで気づいた心を豊かにする方法」	小原正道	10名
02月05日（金）	日本語教師・さくら日本語教室、技能実習生の指導 「やさしい日本語でしゃべれますか」	自見佳珠子	11名

### ○成果

国際協力に関心がある市民の交流の場として2か月に一度行って来ましたが、今年度新型コロナウイルスの影響により対面開催が困難となり、リモート倶楽部FUNNとして開催し計68人が参加しました。NGOへの理解・交流の場として参加促進につながる内容になりました。

## ■ NGO合同説明会

### ○実施内容

国際協力を知りたい、NGOの活動に参加したいという大学生を対象に、講座とNGOのブース出展を組み合わせたイベントを西南学院大学と連携して実施してきましたが、2020年度は新型コロナウイルスの影響により企画が中止になりました。

## ■ NPO法人泉京・垂井×FUNN主催（国際協力講座）

2019年に実施したNGOカレッジに講師として参加していただいた縁から、NPO法人泉京・垂井とFUNNとの共同企画としてオンラインでの国際協力講座実施が実現しました。

### <講座その一> 「南北問題ことはじめ」

世界の今をしるために「NGO・NPOってなに？」

国際協力NGO、SDGsなどを取り上げて1テーマ3回講座シリーズで展開しました。

### ○実施内容（オンライン講座）

オンライン講座では、グローバルなつながりを意識しながらローカルな営みをひとつずつ積み上げて行く思考と実践

の方法を学びました。教育界やビジネス界など、それぞれのフィールドを超えてゆるやかなネットワークをつくることを目的としました。各回参加費1000円。

①多様活動を展開するNGO・NPO

- ・日時：08月01日（土）15:30～17:00
- ・講師：神田浩史（かんだひろし）氏（NPO法人泉京・垂井副代表理事）
- ・参加者：18名

②ニーズが高まるNGO・NPO

- ・日時：08月08日（土）15:30～17:00
- ・講師：神田浩史 氏
- ・参加者：14名

③NGO・NPOの可能性と限界

- ・日時：08月22日（土）15:30～17:00
- ・講師：神田浩史 氏
- ・参加者：16名

<講座その二>

世界の今を生きるために「グローバリズムをきちんと理解するために」

国際協力NGO、SDGsなどを取り上げて1テーマ3回講座シリーズで展開しました。

○実施内容（オンライン講座）

Zoomのチャット機能を使って参加者の疑問に答えながら講義を進めていきました。ブレイクタイムにクイズに答えていき、グループワークではディスカッションをおこないました。フリートークの時間を設け分かりやすく楽しく学べる工夫をしました。各回参加費1000円。

①グローバリズムの萌芽

- ・日時：09月12日（土）15:30～17:00
- ・講師：神田浩史（かんだひろし）氏（NPO法人泉京・垂井副代表理事）
- ・参加者：20名

②開発の時代・冷戦の時

- ・日時：09月19日（土）15:30～17:00
- ・講師：神田浩史 氏
- ・参加者：20名

③猛威を振るうグローバル

- ・日時：09月26日（土）15:30～17:00
- ・講師：神田浩史 氏
- ・参加者：15名

○成果

新型コロナウイルスの影響により、対面での勉強会・交流会が難しい状況の中、岐阜のNPO法人泉京・垂井との協働によりオンライン国際協力講座を実施する事ができました。国際社会の様々な問題解決のための講座として、岐阜との協働講座という初めての試みとなりましたが、オンラインの強みを活かした遠隔地域からの参加という新しい連続講座として実現できました。参加地域を九州に限定せず全国に広報した結果、関西などからの

参加がありました。

■第20期国際協力NGOカレッジ「SDGsと私たちの生活」(オンライン講座)

国際協力に関心のある市民を対象にNGOの活動や世界課題の現状等を知り、自ら出来ることを考える学習の場として実施するFUNN主催の連続講座です。20期目を迎えた今期、NGOカレッジのテーマは、「SDGsと私たちの暮らし」新型コロナウイルスの中工夫を凝らし岐阜県のNPO法人泉京・垂井、西南学院大学との協働でオンライン連続講座として開催しました。各回参加費 一般1500円、学生1000円。



○第1回「SDGsから見直す私たちの食と農」<講義形式>

- ・日時：2021年01月20日(水) 19:30~21:00
- ・講師：神田 浩史 (かんだひろし) 氏 (NPO法人泉京・垂井副代表理事)
- ・参加者：23名

○第2回「揖斐川流域で見る私たちの食と農」<講義形式>

- ・日時：2021年01月30日(水) 14:00~16:30
- ・講師：鉄井 萱人 (てついかやと) 氏 (特定非営利活動法人名古屋NGOセンター 国際理解・開発教育委員)
- ・参加者：18名

▲NGOカレッジ告知リーフレット

○第3回「SDGsで読み解く 足元の水環境と森林」<講義形式>

- ・日時：2021年02月10日(水) 19:30~21:00
- ・講師：神田 浩史 氏
- ・参加者：19名

○第4回「私たちの暮らしと熱帯雨林の関係」<ワークショップ形式>

- ・日時：2021年02月20日(土) 14:00~16:30
- ・講師：荒川 共生 (あらかわともお) 氏 (ボルネオ保全トラストジャパン理事)
- ・参加者：18名



○第5回「SDGsをより深く理解するために」<講義形式>

- ・日時：2021年03月03日(水) 19:30~21:00
- ・講師：神田 浩史 氏
- ・参加者：17名

○第6回「アクションを起こそう！」<ワークショップ形式>

- ・日時：2021年03月13日(土) 14:00~16:30
- ・講師：神田 浩史 氏
- ・参加者：15名

▲第6回アクションプラン発表の様子

## ○成果

コロナの影響により過去にない企画方法で講座開催が行われましたが、九州地域以外からの集客があり大きな成果が得られました。また、西南学院大学との協働が実現したことで学生の参加も得ることができ大きな成果につながりました。講座は、オンラインを活用し遠方同士の実行委員会形式で企画会議が数回に渡り行なわれました。今までではできなかった講座が実現し、実行委員会間でのコミュニケーションにもつながり有意義な企画内容になりました。

## ■外務省「NGO相談員」

### ○実施内容

外務省NGO活動環境整備支援事業「NGO相談員」を受託し、市民・企業・行政・教育関等からのNGOや国際協力に関する相談業務を行いました。

### ○成果

年間相談件数：457件（2019年度528件）

出張サービス件数：4件（2019年度 7件）

SNSリーチ数：120,680件（2019年度 40,960件）

今年度は新型コロナウイルスの影響から対面での相談が困難になりました。オンラインを取り入れながらオンラインだからこそ出来る内容に工夫を凝らし、切り替えて行くことで多様な市民・学生・NGO関係者からの相談に応じることが出来ました。相談内容としてはNGOの設立・組織運営に関する相談に応じてきました。また団体運営やマネジメントの悩みを持つ団体関係者などの相談も応じてきました。

## ■NGO相談員「出張サービス」

### ○実施内容

市民などからの相談対応を通じた国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や相談員制度の認知度を積極的に行いました。2020年度は4件の出張サービスを実施しました。（2019年度は7件）

日程	企画名	場所
2020年08月25日（火）	出水市役所職員向けオンライン出前講座 SDGs 基礎学習 午前：1回 午後：1回	事務所—出水市役所 オンライン
2020年11月10日（火）	3年生対象に様々な職業につく講師を招き働き方について学ぶテーマ「職業人に学ぶ」 FUNNからは国際協力分野から学ぶ	大野城市立大利中学校 対面
2020年11月12日（木）	大分舞鶴高等学校2年生を対象にした総合学習から世界の貧困問題に関する講演と質疑応答	事務所—大分舞鶴高等学校 オンライン
2021年02月06日（土） ～ 11日（木）	福岡市役所ロビーにおけるパネル展でのNGO相談員ブース出展と運営	福岡市役所ロビー



▲出張サービスを実施した大利中学校



▲福岡市役所1Fでのパネル展

○成果

イベントへの出展や九州各県の国際交流協会・国際協力推進員との連携の働きかけを行ってきました。目的としては、①地域の国際協力の状況と現状の把握 ②NGO相談員事業の積極的紹介 ③NGO相談員受託団体との連携 ④国際社会への興味・理解の促進 の4つです。出張サービスのレポートはSNS（Facebook）へ掲載し、相談員制度の認知度向上に向けての理解促進を今年度は積極的に行ってきました。その結果各県のJICA推進への認知度が進み、2021年度は出張サービスへの積極的な活用を期待しています。

■講師派遣・講演登壇

○実施内容

大学の講義や小・中・高校での総合学習の授業、市民・他団体の取組や企画にFUNN職員や加盟団体を派遣、派遣依頼の調整を行いました。

06月29日（月）芭蕉繊維研究会

07月06日（月）ソルト・パヤタス

07月13日（月）バングラデシュと手をつなぐ会

07月20日（月）九州海外協力協会

07月27日（月）JVC九州ネットワーク

FUNN実施の講義

日程	授業・企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
2020年06月22日 （月）	国際協力実践論	九州国際大学	北九州市	52名

■国際理解・多文化共生に関する情報共有、学習機会の場

2020年度にJICAやFUNN加盟団体、関係者の参加により国際理解や多文化共生に関するラウンドテーブルを実施しました。

## 1-4. NGO活動に関する人財育成

### 1-4-1. 2020年度の方針

FUNNや福岡の国際協力活動の発展に資する人財の確保・育成のための活動に取り組みます。

### 1-4-2. 2020年度の活動

#### ① 人財確保・育成の為に施策

##### ■ ボランティア

##### ○ 実施内容

国際協力やNGOの活動に関心のある方をFUNNのボランティアとして受け入れました。NGO相談を通して「ボランティアをしたい」という市民への相談にも応じ、加盟団体の活動紹介や仲介などを行いました。

##### ○ 成果

国際協力ニュースの発送作業やイベント時のブース手伝いなどの協力をいただきました。

##### ■ インターンシップの受入れ

##### ○ 実施内容

NPO法人ドットジェイピーからインターンシップを5名受け入れました。

前半：08月01日～09月30日 2名

後半：02月01日～03月31日 3名

##### ○ 成果

国際協力に興味がある学生に現地活動の大切さと現地ではない中間支援を行うFUNNの役割などについて理解し学んで貰いました。ドットジェイピーでは最終報告会が毎回行われています。8月のインターン2人は、SDGsについて広く体系的に学習しました。3月のインターン3人は、SDGsのプレゼンを行い4つの部門のうち実践可能性部門にて最優秀賞を取ることが出来ました。



▲夏季インターンシップの学生



▲春季インターンシップの学生

## 1-5. NGO間及び各種団体との連携促進

### 1-5-1. 2020年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGOとNGOをつなぎ、NGOとは異なるセクターをつなぐことによる相乗効果を目指します。

### 1-5-2. 2020年度の活動

#### ①ネットワークの構築

##### ■ネットワーク活動

##### ○実施内容

(特活) 国際協力NGOセンター、(特活) 関西NGO協議会、(特活) 名古屋NGOセンター、独立行政法人国際協力機構九州国際センター、JICA国際協力推進員、(公財) 福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会 (FUKU-NET)、(公財) 福岡県国際交流センター、福岡県NPO・ボランティアセンター、福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市人権啓発センター「ココロセンター」、福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」、佐賀県国際交流協会、おおいた国際交流プラザ、長崎県国際交流協会、熊本市国際交流会館、宮崎県国際交流協会、鹿児島県国際交流協会などFUNNが加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換・連携促進を図りました。

また、『持続可能な開発のための教育』を推進する「地域ESD推進拠点」に登録し、地方センターのパートナーとして、他の地域ESD拠点とも連携し、各地域・各分野で取り組まれるESDをさまざまな形で支援することで、「ESD推進ネットワーク」の中で中核的な役割を果たすことが期待されています。

##### ○成果

関係機関とは日常的に連絡を取り合ったり、各施設を定期的に訪れることで、お互いの相談に応じたり、面での連携が実現するなどの良好な関係を構築することができました。



▲10月に大牟田市にてESD推進拠点の事例報告の様子

## 2.組織

### 2-1. 組織運営・体制

#### 役員

##### 【理 事】

ニノ坂保喜／（特活） Bangladeshと手をつなぐ会 代表 [代表理事]  
藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州 代表、九州国際大学現代ビジネス学部 准教授 [副代表]  
楠原圭子／アジア開発銀行福岡NGOフォーラム 事務局 [副代表]  
高橋良輔／青山学院大学地球社会共生学部教授  
原田君子／（特活）NGO福岡ネットワーク 事務局長  
本田正之／（NPO法人）循環生活研究所スタッフ  
瀧本昌平／賛助会員  
安村 妙／ JVC九州ネットワーク

【監 事】 安部昌明

#### 事務局

【事務局長】 原田君子

【事務局スタッフ】 住本大輔（2021年1月退職）、松崎浩平、小原正道、山田英行（会計）

【連携推進担当】 河上雅夫

■通常総会：2020年5月30日（日） 福岡NPO共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室 & オンライン

■通常理事会：毎月1回

■事務局会議：毎週1回水曜日

## 2-2. 会員

### 正会員（全23団体）

(特活) ISAPH  
アジア開発銀行福岡NGOフォーラム  
(特活) アジア女性センター  
(特活) エスペランサ  
NGO Earth for Children  
(特活) 九州海外協力協会  
債務と貧困を考えるジュビリー九州  
佐賀NGOネットワーク  
JVC九州ネットワーク  
(特活) じゃっど  
認定NPO法人 ソルト・パヤタス  
認定NPO法人 地球市民の会  
チベットを知る会  
NPO法人 トゥマンハティふくおか  
国際協力NGO NESTEP  
ネパール歯科医療協力会（ADCN）  
芭蕉繊維研究会  
(特活) バングラデシュと手をつなぐ会  
PP21ふくおか自由学校  
福岡YMCA  
フレンズ国際ワークキャンプ九州  
(一社) ミドリゼーションプロジェクト  
モザンビークのいのちをつなぐ会

### 個人会員

賛助会員（個人） 10名  
賛助会員（団体） 0  
賛助会員（企業） 0  
通信会員 16名

※2021年3月31日時点

## 訃報 高橋良輔さん

NGO福岡ネットワークの理事として、そして日本のNGOのリーダーの一人として活動を続けてきた高橋良輔さん（青山学院大学地球社会共生学部教授）が、2021年3月5日早朝に他界されたとの連絡を受けました。驚きと同時に、私たちFUNNにとってかけがえのない人を亡くし、例えようのない悲しみを感ずります。

佐賀大学に在籍した頃からFUNNの活動に参加し、理論的、活動論的な柱として私たちを導いてくれました。2010年からはFUNNの理事として、私たちの日常活動にも積極的にに関わり、2015年に青山学院大学に移ってからも、広い視野でネットワークNGOの活動のあり方を指導してくれました。

彼については、理事や事務局メンバーみんなが口をそろえて、「いつも優しく穏やかにそしてどんなに忙しい中でも一生懸命に話を最後まで聞いてくれる人でした」と言っています。

「時政学への挑戦—政治研究の時間論的転回—」（ミネルヴァ書房 1月30日初版）という本を、今年の1月30日に残してくれました。その中の高橋さんの言葉を噛み締めたと思います。

本書はその題名『時政学への挑戦』にあるように、現代世界の政治動態分析の新たな視角として時政学のアプローチを实践する試みである。量子力学の解釈では錯視に過ぎないとしても、旧約聖書にもあるように、あらゆる人間は時間と共に生まれ、泣き、笑い、やがて死んでいく。そして揺らぎと不確定性に満ちた時間構造のなかでは、いかなる時政学の取り組みもまた暫定的な分析とならざるを得ない。本書が、動態性・過程性・多様性・重層性に満ちた「時間と政治」のさらなる探究に向けて、乗り越えられていくべき里程碑の一つとなれば幸いである。

心から高橋良輔さんの冥福を祈ります。

2021年5月12日

NGO福岡ネットワーク 代表理事  
二ノ坂 保喜